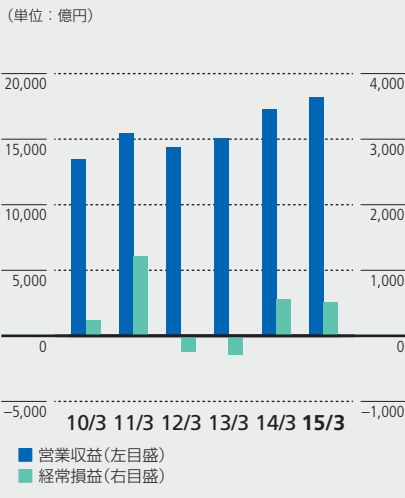


# 主要指標

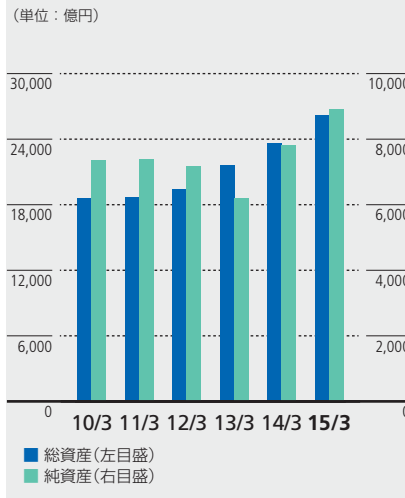
## 営業収益／経常損益



2014年度  
営業収益 **1兆8,170億円**  
経常損益 **513億円**

円安・燃料油安・油送船市況上昇の追い風があったものの、コンテナ船運賃下落、自動車船における生産地移転、ドライバルク船市況低迷等の影響を受け、経常損益は前期比36億円減となりました。

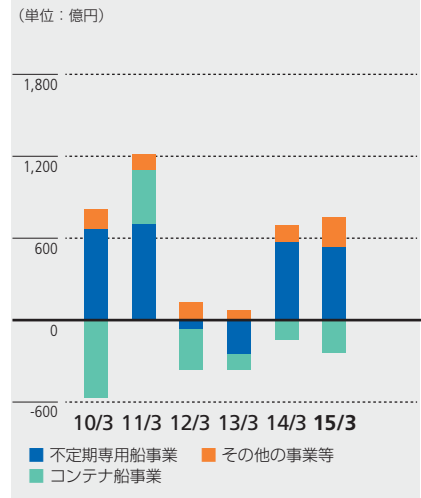
## 総資産／純資産



2014年度末  
総資産 **2兆6,240億円**  
純資産 **8,924億円**

総資産は船隊整備に伴う船舶及び長期貸付金増で前期末比2,593億円増加しました。純資産は、主に利益剰余金や繰延ヘッジ損益等の増加で前期末比1,088億円増加しました。

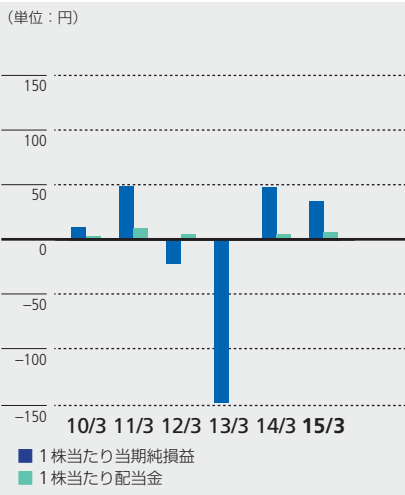
## セグメント別経常損益



2014年度  
不定期専用船事業 **541億円**  
コンテナ船事業 **▲241億円**  
その他の事業等 **213億円**

不定期専用船事業は、油送船部門は大幅増益となりましたが、ドライバルク船・自動車船部門等が減益となりました。コンテナ船事業は、運賃の下落や消費率の低下等により、損失が拡大しました。

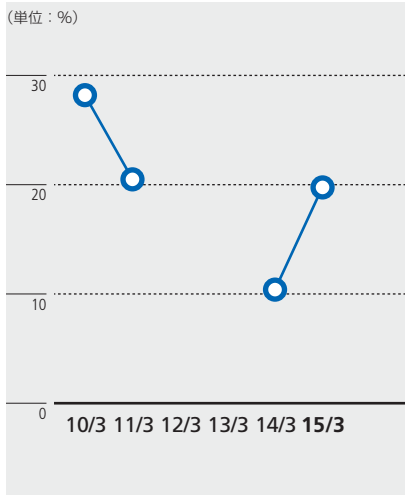
## 1株当たり当期純損益／配当金



2014年度  
1株当たり当期純損益 **35.42円**  
1株当たり配当金 **7円**

当期純損益は、関係会社株式売却等により大きな特別利益を計上した前期に比べ150億円減となりました。年間配当は、前期比2円増配の1株当たり7円(中間配当3円を含む)を実施しました。

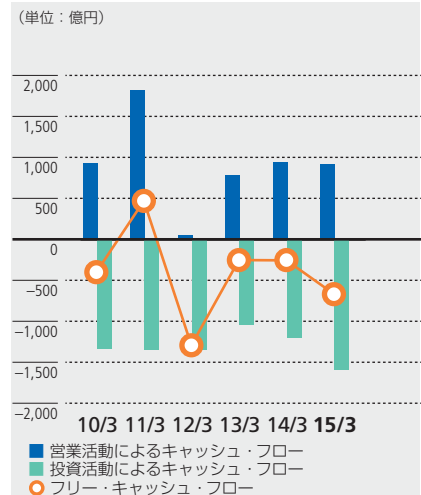
## 配当性向



2014年度  
配当性向 **19.8%**

配当性向は、年間配当金を2円増配したことにより、前期の10%から当面の目安である20%に改善しました。中長期的課題として30%への引き上げを目指します。

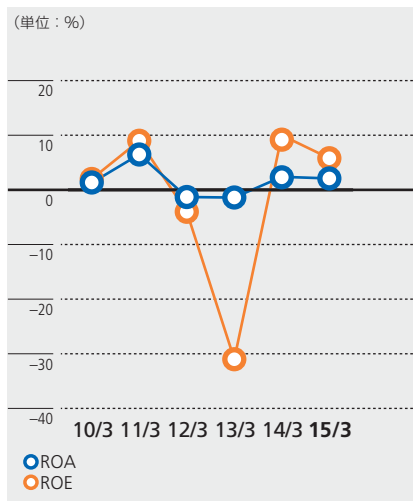
## キャッシュ・フロー



2014年度  
営業活動による  
キャッシュ・フロー **924億円**  
投資活動による  
キャッシュ・フロー **▲1,591億円**

営業活動で得られた資金は前期比17億円減の924億円となった一方、投資活動で支出された資金は積極的な設備投資の継続により前期比392億円増の1,591億円となり、フリーキャッシュフローは引き続きマイナスになりました。

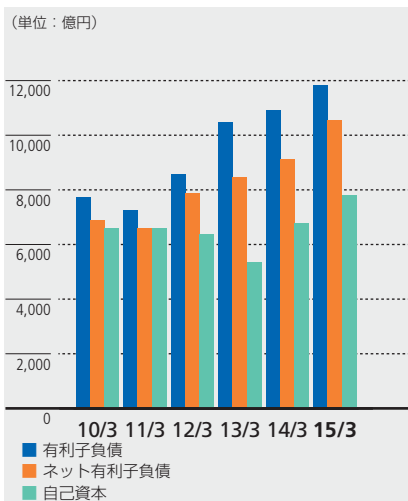
### ROA / ROE



2014年度  
ROA **2.1%**  
ROE **5.8%**

経常損益・当期純損益が市況連動損益の悪化と特別利益の減により低下したこと、将来の安定利益に向けた先行投資により総資産が増加したこと等から、ROA、ROEともに前期比で低下しました。

### 有利子負債 / ネット有利子負債 / 自己資本

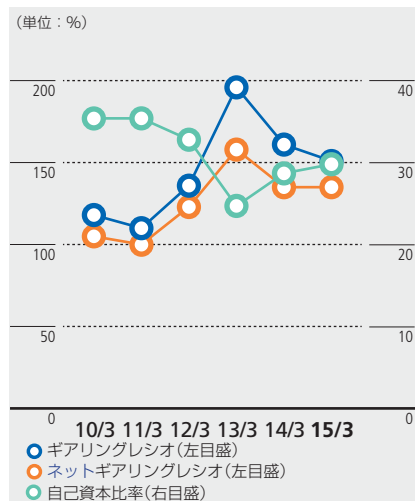


2014年度末  
有利子負債 **1兆1,834億円**  
ネット有利子負債(\*) **1兆546億円**  
自己資本(\*\*) **7,825億円**

(\*)有利子負債－現金及び現金同等物  
(\*\*)貸借対照表上の「株主資本」と「その他の包括利益累計額」の合計額

フリーキャッシュフローのマイナスに対し、銀行借入等で資金調達を進めたことから、有利子負債は前期末比893億円増の1兆1,834億円となりました。

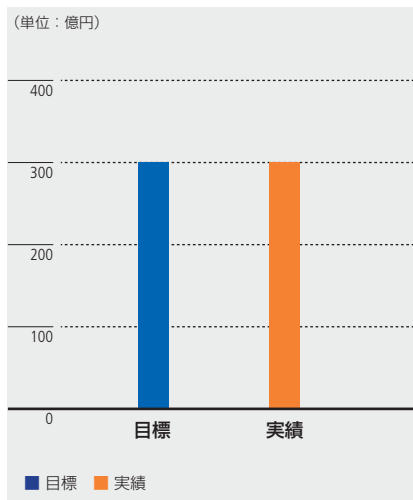
### ギアリングレシオ / ネットギアリングレシオ / 自己資本比率



2014年度末  
ギアリングレシオ **151%**  
ネットギアリングレシオ **135%**  
自己資本比率 **29.8%**

前期末比で有利子負債は893億円増、総資産は2,593億円増、自己資本は1,033億円増となりました。その結果、ギアリングレシオは10ポイント改善し、自己資本比率は1ポイント改善しました。

### コスト競争力強化



2014年度  
コスト削減目標 **300億円**  
コスト削減実績 **300億円**

減速航海の深度化による一層の燃料費削減や配船効率改善、大型コンテナ船竣工などにより、2014年度期初目標300億円のコスト競争力強化を達成しました。

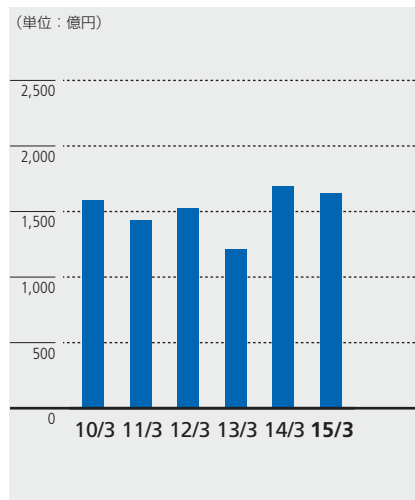
### 格付(2015年6月現在)

種類	格付け
短期格付け (コマーシャルペーパー)	J-1
長期優先債務 (発行体) 格付け	A
長期格付け	A
発行体格付け	BBB+
短期格付け (コマーシャルペーパー)	a-2
長期個別債務格付け	A-
Moody's コーポレート・ファミリー・レーティング	Ba1

日本格付研究所 (JCR) **A**  
格付投資情報センター (R&I) **BBB+**  
Moody's **Ba1**

当面設備投資が膨らむものの、この裏には強固な長期契約があり、将来のキャッシュフロー創出が約束されている投資であること等を格付機関に対し丁寧に説明し、格付の改善を目指していきます。

### 設備投資額



2014年度  
設備投資額 **1,642億円**

この設備投資額は、有価証券報告書に掲載の有形及び無形固定資産の増加額から竣工時売船収入を控除した実質的な設備投資額です。